

## IBM Cloud Identity Service

本「サービス記述書」は「クラウド・サービス」について規定するものです。適用できる注文関連文書には、お客様の発注に関する価格設定および追加的な詳細情報が記載されています。

### 1. クラウド・サービス

IBM Cloud Identity Service は、Identity and Access Management (IAM) ソリューションを展開し、管理する時間および費用を削減するとともに、エンタープライズおよびクラウド・アプリケーション全体のアクセスを確実にするための主要なセキュリティ管理としてのアイデンティティを可能にします。IBM Cloud Identity Service は、Identity and Access Management のコア機能全体に深い機能性を提供するマルチテナントのパブリック・クラウド SaaS で、Web アクセス管理、統合ならびにアイデンティティのガバナンスおよび管理が含まれます。IBM Cloud Identity Service は、戦略的な IAM プラットフォームを多面的なユーザー人口 (従業員、消費者およびパートナーなど) に対して提供します。

#### 1.1 オファリング

お客様は、利用可能な以下のオファリングから選択することができます。

##### 1.1.1 IBM Cloud Identity Service

IBM Cloud Identity Service は、シルバー、ゴールド、プラチナおよびブルーの 4 つの基本サブスクリプションを提供します。基本サブスクリプション・パッケージは、サブスクリプション・パッケージに含まれる可用性および機能の数量によって異なります。お客様は、それらに関連する 1 つの基本サブスクリプションを購入しなければなりません。各パッケージには、IBM Cloud Identity Service を利用することが予測される総ユーザー数を示す 6 つのユーザー階層があります。選択したパッケージ内で、1 つの階層を選択しなければなりません。基本パッケージの比較については、下表を参照してください。

	シルバー	ゴールド	プラチナ	ブルー
実稼動ドメイン	1 実稼動 + 1 DR	1 実稼動 + 1 DR	1 実稼動 + 1 DR	1 実稼動 + 1 DR
非実稼動ドメイン	1	1	2	2
完全非実稼動	0	0	0	1
VPN	1	1	2	2
IP アドレス	2	2	4	6
<b>WAM:</b>				
SPNEGO サポート	いいえ	はい (1 AD ドメイン)	はい (1 AD ドメイン)	はい (1 AD ドメイン)
多要素 EAI	いいえ	いいえ	はい	はい
<b>アイデンティティ管理</b>				
アイデンティティ・フィード (Standard TAL)	2	10	18	無制限
アイデンティティ・フィード (Custom TAL)	0	0	2	無制限
セルフサービス (Basic)	はい	はい	はい	はい
セルフサービス (Advanced)	いいえ	いいえ	はい	はい

	シルバー	ゴールド	プラチナ	ブルー
<b>統合:</b>				
FSSO パートナー (Quick Connect)	2	15	50	無制限
FSSO パートナー (Custom)	0	0	2	無制限
<b>監査および報告:</b>				
監査フィード	いいえ	いいえ	はい (1 フィード)	はい (1 フィード)
アドホック・レポート・コンソール	いいえ	はい	はい	はい
<b>その他:</b>				
API	いいえ	いいえ	はい	はい
MPLS サポート	いいえ	いいえ	いいえ	はい
専用ディレクトリー	いいえ	いいえ	いいえ	はい

### パッケージ・コンポーネント定義

コンポーネント	説明
実稼動ドメイン	お客様の Cloud Identity Service の主要な場所
非実稼動ドメイン	Cloud Identity Service の論理的な非実稼動インスタンス - 各非実稼動ドメインは、最大 5,000 ユーザーに制限されます。
完全非実稼動	お客様が全ユーザー (5,000 ユーザーに制限されない) をロードできる非実稼動ドメイン
VPN	Cloud Identity Service をプライベート・ネットワークを介してお客様の資産に接続できるようにするサイト間 VPN 接続
IP アドレス	お客様の資産に対し WAN を介してトラフィックをルーティングするために使用できるパブリック IP アドレス
<b>WAM:</b>	
SPNEGO サポート	お客様の AD 資格情報を使用して、統合 Windows 認証/SPNEGO がデスクトップ - Web 間の SSO についてサポートされます。
Multi-Factor External Authentication Interface (MFA EAI)	お客様所有の MFA ソリューション (RSA SecurID など) との統合をサポートします。
<b>アイデンティティ管理</b>	
アイデンティティ・フィード (Standard TAL)	Template Assembly Line (TAL) Identity Feeds は、IDI または ISIM を介してサポートされるプロトコルを使用してシステムのプロビジョニング統合をサポートします。
アイデンティティ・フィード (Custom AL)	カスタム・アダプターまたは TAL によってサポートされないワークフロー・ロジックを必要とするアセンブリー・ライン
セルフサービス (Basic)	アプリケーションの完全な「セルフサービス」スイート - アプリケーションごとに 1 インスタンスに制限されます。
セルフサービス (Advanced)	アプリケーションの「セルフサービス」スイートに、マルチ・インスタンス・サポートを追加します。
<b>統合:</b>	
FSSO パートナー (Quick Connect)	標準プロトコルを用いた「統合シングル・サインオン」(FSSO) のために Cloud Identity Service と統合された第三者。

コンポーネント	説明
FSSO パートナー (Custom)	カスタムまたは専有プロトコルを必要とする FSSO のために Cloud Identity Service と統合された第三者
<b>監査および報告:</b>	
監査フィード	お客様が所有、運用するリレーショナル・データベース/SIEM に Cloud Identity Service の未加工の監査イベント情報を転送するアセンブリー・ライン
アドホック・レポート・コンソール	システムの基礎的な監査リポジトリを利用して、アドホックなグラフィック、テキスト、ドリル・ダウンおよび定期レポートを可能にするレポート・コンソール
<b>その他:</b>	
API	REST Web サービスを介して、Cloud Identity Service の管理機能およびセルフ・サービス機能に対しプログラムによるアクセスを提供します。
MPLS サポート	お客様はプライベート・ネットワーク通信のために、提供された MPLS 回路を利用することができます。
専用ディレクトリー	お客様のアイデンティティ・データのために Cloud Identity Service 内でスタンドアロン LDAP インフラストラクチャーを提供します。

各パッケージには、IBM Cloud Identity Service を利用することが予測される総ユーザー数を示す 6 つのユーザー階層があります。選択したパッケージ内で、総許可ユーザーの上限を示す 1 つの階層を選択しなければなりません。以下の 2 つのユーザー・タイプが存在し、該当する場合はサブスクリプションに含めなければなりません。

- a. 「内部ユーザー」 - これらは、お客様の従業員および請負業者として定義されます。
- b. 「外部ユーザー」 - これらは、お客様、ビジネス・パートナー、チャネル・パートナーおよびその他の外部関係者として定義されます。

外部ユーザーは、1 内部ユーザーに対し 15 ユーザーとしてカウントされます。(例えば、1 内部ユーザー = 15 外部ユーザー)

お客様が内部ユーザーおよび外部ユーザーの両方を擁している場合、基本パッケージの範囲内で適切なユーザー階層を算定するために、ユーザーは内部または外部のいずれかに上記 15:1 の比率で完全に変換されます。(例えば、1,000 内部ユーザー+ 1,500 外部ユーザーは、1,100 内部ユーザーまたは 16,500 外部ユーザーに変換することができます。)

サービスとのインタラクションが見込まれるすべてのユーザーは、ユーザーが性質として内部であるか、外部であるか、また利用頻度が高いか低いかにかかわらず、カウントされなければなりません。

各基本パッケージのユーザー階層については、以下に記載します。

シルバー		ゴールド		プラチナ		ブルー	
内部ユーザー	外部ユーザー	内部ユーザー	外部ユーザー	内部ユーザー	外部ユーザー	内部ユーザー	外部ユーザー
1,000	15,000	2,500	37,500	5,000	75,000	25,000	375,000
2,500	37,500	5,000	75,000	10,000	150,000	50,000	750,000
5,000	75,000	10,000	150,000	20,000	300,000	75,000	1,125,000
7,500	112,500	20,000	300,000	35,000	525,000	100,000	1,500,000
10,000	150,000	35,000	525,000	50,000	750,000	125,000	1,875,000
15,000	225,000	50,000	750,000	75,000	1,125,000	150,000	2,250,000

## 1.2 オプション・サービス

以下の「オプション・パック」は、追加のフィーチャーの必要に応じて基本サブスクリプション・パッケージにオプションで追加することができます。

### 1.2.1 IBM Cloud Identity Service IDENTITY

このオプション・パックは、追加的な 2 つの「アイデンティティ・フィールド」をお客様に提供します。

### 1.2.2 IBM Cloud Identity Service FEDERATION

このオプション・パックは、追加的な 15 の FSSO パートナーをお客様に提供します。

### 1.2.3 IBM Cloud Identity Service COMBO

このオプション・パックは、追加として 2 つの「アイデンティティ・フィールド」と、15 の FSSO のための「統合パートナー」をお客様に提供します。このパックは、個別に「アイデンティティ・フィールド」および「FSSO オプション・パック」を購入する際の割引を提供します。

### 1.2.4 IBM Cloud Identity Service DEVELOPER

このオプション・パックは、1 つの監査フィールドとともに Cloud Identity Services REST API へのアクセスを提供します。

### 1.2.5 IBM Cloud Identity Service POWER PACK

このオプション・パックは、追加の非実稼動ドメイン、多要素認証 (MFA)、外部認証インターフェース (EAI) の使用、および高度な「セルフサービス」スイートへのアップグレードを提供します。

### 1.2.6 IBM Cloud Identity Service REPORTING

このオプション・パックは、Cloud Identity Service のアドホック・レポート・コンソールへのアクセスを提供します。

### 1.2.7 Business to Consumer (B2C) Option Packs

このオプションは特に、通常、企業・消費者間 (B2C) シナリオにおいて多数の外部ユーザーを必要とするお客様のために設計されています。以下の 5 つの「B2C オプション・パック」が利用できます。

- IBM Cloud Identity Service B2C SILVER (最大 2,000,000 外部ユーザー)
- IBM Cloud Identity Service B2C GOLD (最大 4,000,000 外部ユーザー)
- IBM Cloud Identity Service B2C PLATINUM (最大 5,000,000 外部ユーザー)
- IBM Cloud Identity Service B2C BLUE (最大 10,000,000 外部ユーザー)
- IBM Cloud Identity Service B2C BLUE UNLIM (無制限外部ユーザー)

### 1.2.8 Non-Production Domain Option Packs

このオプション・パックは、追加の非実稼動ドメインを提供します。以下の 3 つの「オプション・パック」が利用できます。

- IBM Cloud Identity Service NPD SILV GOLD  
シルバーまたはゴールド・パッケージのお客様に追加の非実稼動ドメインを提供します。各非実稼動ドメインは、最大 5,000 ユーザーに制限されます。
- IBM Cloud Identity Service NPD PLAT BLUE  
プラチナまたはブルー・パッケージのお客様に追加の非実稼動ドメインを提供します。各非実稼動ドメインは、最大 5,000 ユーザーに制限されます。
- IBM Cloud Identity Service NPD FULL USER  
お客様が全ユーザー (5,000 ユーザーに制限されない) をロードできる追加の非実稼動ドメインを提供します。

### 1.2.9 IBM Cloud Identity Service DED DIRECTORY

このオプション・パックは、お客様のアイデンティティ・データのために Cloud Identity Services 内でスタンドアロン LDAP インフラストラクチャーを提供します。

## 2. データ処理およびデータ保護に関するデータ・シート

IBM のデータ処理補足契約書 (<http://ibm.com/dpa> に公開。「DPA」) のほか、下記リンクの「データ処理およびデータ保護に関するデータ・シート」(データ・シートまたは「DPA 別表」) にも、「クラウド・サービス」およびそのオプション(処理対象の「コンテンツ」の種類、発生する処理活動、データ保護機能、および「コンテンツ」の保存および返却についての仕様書に関連)に関する追加的なデータ保護情報が記載されています。EU 一般データ保護規則 (EU/2016/679) (GDPR) が「コンテンツ」に含まれる個人データに適用される場合に、その適用範囲に限り、DPA が適用されます。

<https://www.ibm.com/software/reports/compatibility/clarity-reports/report/html/softwareReqsForProduct?deliverableId=E3AFA95080CD11E6B5854315721876AE>

## 3. サービス・レベルおよびテクニカル・サポート

### 3.1 サービス・レベル・アグリーメント

IBM は、以下の可用性のサービス・レベル・アグリーメント (以下「SLA」といいます。) をお客様に提供します。IBM は、下表のとおり、「クラウド・サービス」の累積的な可用性に基づき、適用しうる最大の補償を適用します。「可用性」は、契約月における分単位の総時間数から、契約月における「サービス・ダウン」の分単位の総時間数を差し引き、それを契約月における分単位の総時間数で除することにより算出され、結果はパーセントで表します。「サービス・ダウン」の定義、請求のプロセス、サービスの可用性の問題に関して IBM に連絡する方法については、IBM の SaaS サポートの概要

([https://www.ibm.com/software/support/saas\\_support\\_overview.html](https://www.ibm.com/software/support/saas_support_overview.html)) に掲載されています。

可用性	クレジット (月額サブスクリプション料金のパーセント*)
99.9% 未満	2%
99.0% 未満	5%
95.0% 未満	10%

\*サブスクリプション料金は、請求対象月に関して約定した料金です。

#### 3.1.1 本「SLA」に関するその他の情報

お客様の期間の最初の 60 日の間 (以下「バーンイン期間」といいます。) は、本契約に基づく最低 99.9% の「実行可能時間パーセンテージ」を達成するために、お客様は IBM Cloud Identity Service の障害によるクレジットの資格を与えられないものとします。バーンイン期間の前またはその期間中に、IBM Cloud Identity Service への移行が予定される既存のお客様構成、ポリシー、データまたはコード (以下「既存コンポーネント」といいます。) のうち、IBM Cloud Identity Service で本契約に含まれた「実行可能時間パーセンテージ」を順調に達成することを妨げるものを IBM が特定した場合、IBM は、お客様に対し、当該の「既存コンポーネント」について通知し、IBM の独自判断で SLA の条件からそれらを除外する権利を留保します。IBM がお客様に対し、除外された「既存コンポーネント」について通知した場合、IBM は可能な限り、除外された当該コンポーネントが本契約の「実行可能時間パーセンテージ」を満たすことができるように、お客様に改善計画を提示する責任を負うものとします。両当事者が別途合意した場合を除いて、お客様は当該改善の費用に対して全責任を負うものとします。

### 3.2 テクニカル・サポート

「クラウド・サービス」のテクニカル・サポート (サポート窓口の連絡先情報、重大度レベル、サポート利用可能時間、応答時間、その他のサポート情報およびサポート処理など) を参照するには、IBM サポート・ガイド (<https://www.ibm.com/support/home/pages/support-guide/>) の「クラウド・サービス」を選択します。

## 4. 料金

### 4.1 課金単位

「クラウド・サービス」の課金単位は、「取引文書」に記載されます。

以下の課金単位が本「クラウド・サービス」に適用されます。

- 「インスタンス」は、「クラウド・サービス」の特定の構成への各アクセスを意味します。

## 5. 追加条件

2019年1月1日よりも前に締結されるクラウド・サービス契約(または同等のクラウド基本契約)については、<https://www.ibm.com/acs>に掲載されている条件を適用します。

### 5.1 ゲストによる使用

「ゲスト・ユーザー」とは、お客様とのデータ交換のために「クラウド・サービス」にアクセスすること、またはお客様に代わって「クラウド・サービス」を利用することをお客様が許可した「クラウド・サービス」ユーザーをいいます。「ゲスト・ユーザー」はすべて、「許可ユーザー」でなければなりません。お客様の「ゲスト・ユーザー」は、「クラウド・サービス」へのアクセスおよびその利用のために、IBMが提供するオンラインでの同意を要求される場合があります。お客様は、次のような「ゲスト・ユーザー」に対する責任を負うものとしますが、これらに限られません。a)「ゲスト・ユーザー」による「クラウド・サービス」に関連するあらゆる請求、またはb)「ゲスト・ユーザー」による「クラウド・サービス」の不正利用。